過積載防止対策について

過積載とは、道路運送車両法で定められた自動車の最大積載量を超えて

貨物等を積載し運行する違法行為です

《過積載と疑わしい車両の目安》

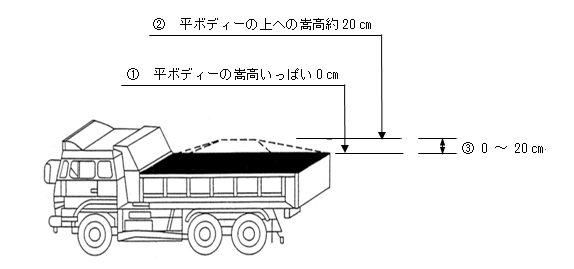
ダンプトラックのメーカー、車両により許容積載量に差異があるが、過積載の目安として①土砂及び砕石・As合材等の建設資材は均した状態で平ボディーの嵩高いっぱいまで、

②As・Co殻及びAs切削殻は平ボディーの上の嵩高２０ｃｍまでは定量による積載とみなす。

ただし、③土砂及び砕石・As合材等の建設資材については、通常均した状態で運搬していない場合もあり、平ボディーの嵩高以上であっても均した場合嵩高いっぱいまでと判断できるときは定量による積載とみなす。

なお、計測は目視によるものとする。

「産業廃棄物処理専用車」（土砂運搬禁止車）での土砂等の運搬は、全て過積載とみなす。



　　※過積載とみなすものについての程度

　　①０㎝を越える【土砂及び砕石・As合材等の建設資材】

　　②２０㎝を越える【As・Co殻及びAs切削殻】

　　③２０㎝を越える

　　その他関係法令

■道路運送車両の保安基準第18条の2

貨物の輸送の用に供する普通自動車の後面には突入防止装置を備えなければならない。

　　　■道路運送車両の保安基準第27条

　　　自動車の荷台その他物品積載装置は、堅ろうで、且つ、安全、確実に物品を積載できる構造で

　　　なければならない。

　　■道路運送車両の保安基準第31条

排気管は、左向き又は右向きに開口していないこと。